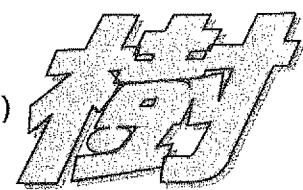


(たいじゅ)



明石市立江井島中学校
第3学年 進路・学年通信
NO. 151
平成31年3月5日(火)

卒業まで残り3回。。。。

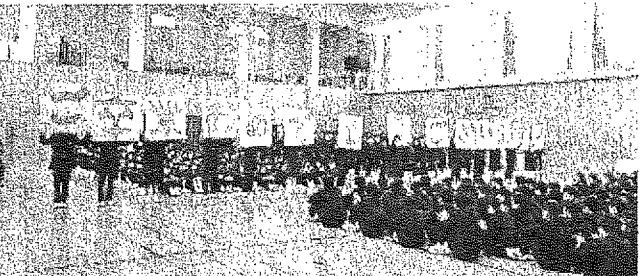
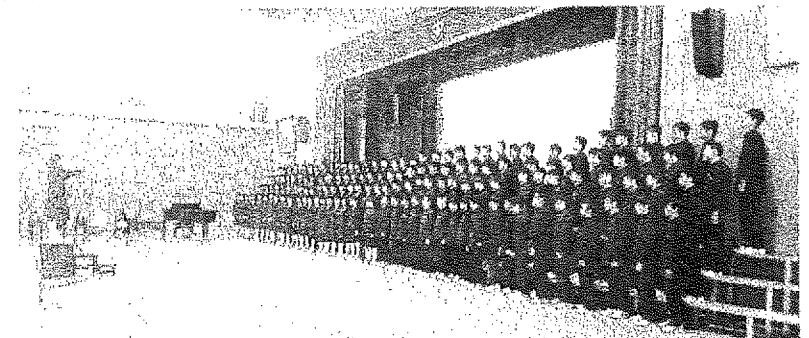
昨日の学年合唱で見えてきた40回生の力!!

先週から全校集会、卒業式での学年合唱の練習が始まりました。パート練習と全体練習を数回行った先週の学年合唱、本当に情けないものでした。特に男子の歌声には、卒業していく先輩としての威厳はなく、この3年間いったい何をしてきたのかと思うほどの学年合唱でした。しかし、それを受けた学年学級委員会で卒業式に向けての話し合いが持たれ、その内容が昨日の朝の学年集会で学年全員に伝えられました。最後の全校集会で1・2年生に残せるものはないと思っていた先生の気持ちを変えさせたのは昨日の学年合唱でした。今までの成長をよみがえさせるきっかけとなる学年合唱を聞くことができました。今の3年生にとっては満足できる学年合唱だったと思います。しかし、持っている力はこんなものではないはずです。残りわずかな日々に江井島中学校40回生の力を思う存分發揮して、卒業式での動き、そして、学年合唱でこれだけ成長したのだということを2年生、卒業生である自分自身の為に参加しているすべての人見せつけて、達成感・満足感を全員で味わうことが出来るような行事にして、これから切開していく道に自信を持って進んで行けるようにしてほしいと思います。今日の式練習、合唱練習に期待しています。卒業式には本当に「すごい学年合唱」を披露してほしい。

今日の朝の学年集会の学年学級委員会のまとめの発表をもう一度紹介しておきます。本気になる為にしっかり読み返して、意識を思いっきり高めて下さい。

「159の翼～旅立ちの日に見せる飛翔～」 学級委員学年代表（3組）

卒業式へ向けての話し合いで、「後悔のない卒業式」、「40回生で良かった。」と思える卒業式にしたいという意見がありました。しかし、今ままではそのような卒業式にすることはできないと思います。受験が終わり気が緩んでいる人やけじめをつけることができていない人が多く、卒業するという自覚が足りていないと思います。自分達が望む卒業式にする為には、あいさつや2分前着席、授業態度など当たり前のことをしっかり行い、最後まで下級生の見本となる行動を心がけましょう。また、お互いのことを考え、卒業までみんなが笑顔で充実したと思える中学校生



活を送れるようにしましょう。卒業式の練習では、練習だからと言って適当にするのではなく、1回1回本番と同じように真剣に緊張感を持って取り組みましょう。そして、卒業式当日に家族や先生方に成長した姿や感謝の気持ちを学年合唱や態度で伝

えられるように、練習から気持ちを込めて全力で取り組んでいきましょう。卒業式の学年スローガンは、「159の翼～旅立ちの日に見せる飛翔～」に決まりました。HRで話し合ったことやこの学年集会が無駄にならないよう残りの4日間、自分達はどう過ごしていくべきなのか1人1人考え、スローガンにある通り40回生159名が卒業式でいい顔、いい姿で旅立てるようしましょう。

高校受験（検）前半戦を終えて!! [PART. 3]

進路・学年通信NO. 150に引き続いて、私立・公立推薦等の受験（検）を経験して感じたことを作文で紹介していきます。卒業にあたって、また、これから受験（検）に向けての準備に役立てて下さい。



「受験勉強とは自分との闘い!」 [4組]

私は、神戸野田高校を受験しました。専願だったので勉強は、国語・数学・英語の3教科を集中して取り組むことができました。しかし、受験勉強を計画的に行うことができず、一時期には一つも勉強せず、やりたいことだけをやってダラダラしたことありました。この経験から受験勉強とは、自分との闘いであり、思うように取り組むことは難しいことだと分かりました。この経験は次の大学受験に役立つと思いました。

受験には見事合格し、今は少しずつ高校生活に向けての準備を進めています。私は高校に入学したら文武両道を目標に頑張りたいです。目標はありきたりのものですが、私の将来の夢を実現させるためにはピッタリの目標です。これから3年間は、私が生きていく上で本当にかけがえのない宝物になると思うので、決してダラけることなく、毎日を誰よりも楽しめます。

「自分の決めた進路なのでこれからもがんばろう!」 [2組]

私立入試、公立入試の面接を通じて思ったことは、どの高校も面接内容は、変なものだなと言うことです。私立では「10億円あったら何に使いますか。」という質問をされ、公立では「まず始めに自己紹介をして下さい。」や「嫌いな教科を勉強する意味について教えて下さい。」と言われすごく焦りました。合格を知った時はとても嬉しく思いましたが、課題を渡された瞬間「あ、嫌やな・・・」と感じました。しかし、自分で決めた進路なのでこれからもどんどん頑張ろうと思っています。